

## 第53回ブロック会議（中国）の報告について

日時：H27年4月5日（日）13:00～16:00

場所：協会東国地区センター事務所

参加者：中央本部 岡事務局次長、久村事務局次長

広島：3名（栗栖、立島、石丸）

岡山：4名（吉田、森脇、春木）傍聴者 真田

山口：3名（吉田、秋枝、井上）

山陰：3名（福島、北國、足立）計13名 内傍聴者1名の出席

議長：吉田常任理事



### ・会員数報告

広島（被害者会員：272、親重複会員：7、親単独会員：13、合計292）

山口（被害者会員：71、親重複会員：6、親単独会員：8、合計85）

山陰（被害者会員：56、親重複会員：8、親単独会員：4、合計68）

岡山（被害者会員：211、親重複会員：18、親単独会員：4、合計233）

### 1. 全国本部事務局次長（岡）あいさつ

- ・中国ブロックの皆さんには、活発な議論をしていただきおり、活動もしっかりできている。昨年開催された全国協力員会議でも活動に基づく報告が多く聞けた。各県本部の役員の皆さんの日頃の活動に感謝する。本日は、運動方針案を中心に議論をしていただきますが、きたんのない意見を積極的に出して欲しいと思います。

### 2. 協議事項

#### （1）全国総会方針（案）討議

##### ○マクロ経済スライドについて

##### 山陰

- ・少子化で国として障害基礎年金を減らさざるを得なくなった時に、協会に要望して救済事業により、障害のある被害者の生活が苦しくならないよう要望するのが守る会の役割だと思う。

##### 広島

- ・守る会は、障害のある被害者の生活実態がわからない。学習が大切と思う。

##### 岡山

- ・運動方針案の表現は解りづらいと思う。守る会は、障害のある被害者に支給される、障害基礎年金+生活手当、調整手当の額が目減りしないように働きかけて欲しい。

##### 山口

- ・生活手当、調整手当を支給するだけでなく、障害被害者が生活できるお金を実際もらっているかしっかり調査して欲しい。

##### ○会員拡大について

##### 広島

- ・被害者宅に会員拡大をよびかけるために、電話をすとなぜ電話番号を知っているのかとお叱りを受けることもあり、困っている。協会の協力がないと困難である。

##### 岡山

- ・協力員の拡大および守る会員の拡大については、協会職員と協力し合っており、職員と守る会役員が動向し、守る会員・協力員の拡大を図っている。

- ・60年記念行事の参加呼びかけでは、協力員の皆さんが手分けして呼びかけをしていただいたおかげで11人の未会員の被害者の参加があった。入会の呼びかけをしていきたい。

山口

- ・公益財団法人になって、被害者の50%を目標にした会員拡大はしていかなければならないと思う。掘り起こしもし、新入会員も増えているが、亡くなる会員もいて純増となっていない。
- ・兵庫の会員拡大の方法を学ぶために、電話で守る会員で職員の方に問い合わせたところ、「守る会がなくなったら、協会もなくなりますよ。」という呼びかけ方をされている。参考にしたい。

山陰

- ・山陰は50%達成しているが、親御さんが障害のある被害者全員を会員化したおかげで、私たちの努力ではない。会費の納入は、郵便振替で実施しており、郵便局が近くになくて、離脱された障害のある会員が発生した。今年是要請をして入金をしてもらうようお願いした。
- ・協会職員の皆さんには、守る会員の拡大などの活動にもっと協力して欲しい。

○代表発言について

山口

- ・在宅の障害を持った被害者のふれあい訪問に行くと、被害者から一緒に外出して欲しいという要望がある。外出すると費用が発生するので、代表発言で各都道府県の状況を代議員に問いかけても、本部からの回答だけで終わってしまう。軸の活動としてもっと発展した回答内容として欲しい。

広島・岡山・山陰・山口

- ・代表発言の内容については、事前に本部に報告している。報告した内容は、四役でしっかり議論して回答をしてもらいたい。
- ・代表発言は、各県必ず出すことを確認し合った。

○その他

山陰

- ・守る会ブロック会議は、毎回岡山で実施してもらえないかとの提案があった。

(理由)

松江から広島へはバス利用が原則で、伯備線、新幹線は利用できない。今回、拡大二者懇と守る会のブロック会議が土曜・日曜日に連続して参加できたので、体力的にも楽であった。

全国本部でも検討して欲しい。

全国総会議長：広島県本部で選出

全国本部幹事：山口県本部で選出（井上さん）

